

# 令和元年度第2回働き方改革推進拡大会議における委員の主な発言について



令和2年2月27日  
千葉県教育庁教育振興部教職員課  
電話043-223-4036

県教育委員会では、令和2年1月29日（水）に第2回働き方改革推進拡大会議を開催し、学校における業務改善の方向性や具体的施策について有識者及び関係各課による協議を行いました。

協議等における委員の主な発言は、次のとおりです。

## 【協議等における委員の主な発言】

### 1 報告事項について

(今年度の取組の進捗状況、令和元年度の各種調査結果、「学校における働き方改革」に係る国の動向)

○特になし

### 2 協議事項について

(「学校における働き方改革推進プラン」に係る具体的取組方針（数値目標）)

○特になし

(働き方改革啓発のためのPTA等との連携)

○保護者等に向けたメッセージの中に、出退勤時刻実態調査や意識調査の結果を載せてはどうか。保護者の多くは、教職員の勤務実態がどのような状況にあるか把握しきれていない。現状を伝えた上で協力を呼びかけた方が理解されやすいのではないか。

○保護者等へ向けて、「子供たちに真に必要な教育活動を持続的に行うための働き方改革なのだ」というメッセージが親の気持ちにしっかり届き、「ああ、なるほど」と思われるような書きぶりにしてほしい。

○「メッセージ」として発信すると、教職員に対してのものと勘違いしてしまう方もいるのではないか。保護者や地域の皆様に対してのお願いという意味であれば、「メッセージ」とせずに、「働き方改革へのお願い」とした方が伝わりやすい。

○部活動については、単純にガイドラインに示した時間の枠にはめるのではなく、「地域との連携を進めながら」又は「地域の人々の御協力をいただきながら」進めていくという趣旨の文言を入れられないか検討してほしい。

○現在も学校現場ではサービス残業をしている方がたくさんいる。現状は、学校現場にだけ押し付けてしまっている部分もあるので、改革を進める以上は、地域にも考えてもらい、働き方改革を徹底してやっていく必要がある。

- 文面には、「各校長会と連携しながら」という記載があるが、働き方改革は、「プラン」に基づいて各学校長が進めている。今日のような会議等において校長会の意見を汲んでいただけるといような趣旨の連携であれば、この文言でもありがたい。
- これほど多くの団体が共同でメッセージを出すということは、これまでされてこなかったことである。県教育委員会だけが発信しても進まないし、学校現場と地域の皆様やPTAとの連携がなければ、働き方改革という大きなテーマはなかなか実現しないと思うので、大きな方向性として皆様に賛同いただきたい。
- 特別支援学校では、この1年間校長会や教頭会でも働き方改革に係る部会を設けて協議してきた。その方向性に沿ったこのようなメッセージを発出してもらえることは、大変ありがたい。